

# WindO/I-NV2、WindO/I-NV3

ユーティリティ

Downloader

---

インストールマニュアル

IDEC株式会社

# はじめに

---

本マニュアルは、『WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 ユーティリティ Downloader インストラクションマニュアル』です。

本マニュアルをよくお読みいただき、WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 ユーティリティ Downloader の機能をご理解のうえ、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

## 出版履歴

2005 年 6 月	初版発行
2006 年 3 月	第 1 版発行
2006 年 5 月	第 3 版発行
2006 年 10 月	第 4 版発行
2007 年 3 月	第 5 版発行
2008 年 11 月	第 6 版、第 7 版発行
2011 年 2 月	第 8 版発行
2011 年 7 月	第 9 版発行
2011 年 10 月	第 10 版発行
2012 年 2 月	第 11 版発行
2013 年 3 月	第 12 版発行
2019 年 12 月	第 13 版発行

# 目次

---

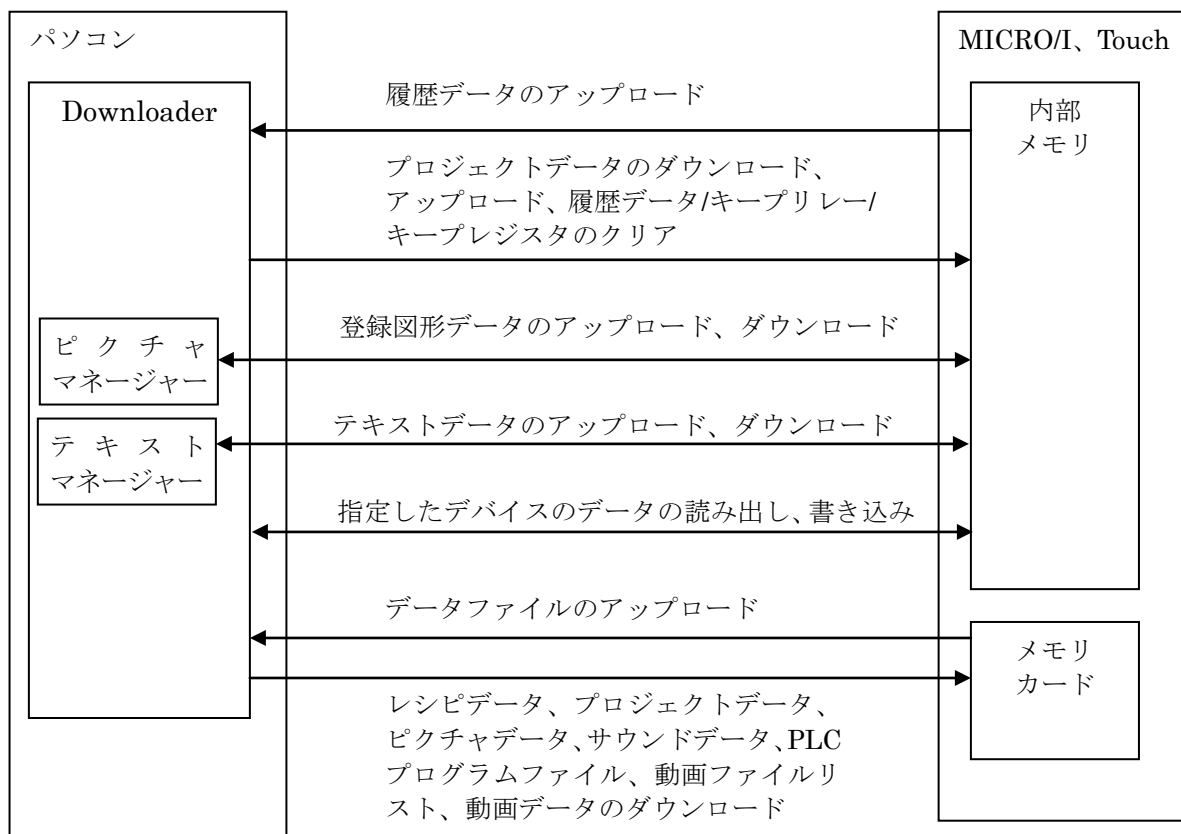
目次.....	3
1 Downloader の機能 .....	1
2 動作環境.....	2
3 制限事項.....	3
4 画面構成.....	4
5 使用方法.....	5
5-1 Downloader の起動 .....	5
5-2 通信設定 .....	5
5-3 プロジェクトのダウンロード .....	6
5-4 プロジェクトデータのアップロード .....	8
5-5 履歴データのアップロード.....	8
5-6 履歴データのクリア .....	10
5-7 外部メモリメンテナンス .....	11
5-8 登録図形の変更 .....	14
5-9 テキストの変更 .....	16
5-10 デバイスデータの読み出し.....	19
5-11 デバイスデータの書き込み.....	20
5-12 システム情報.....	21
5-13 バージョン情報の参照 .....	22
6 履歴データのフォーマット .....	23
7 ダウンロードオプション .....	24
8 他アプリケーションソフトからの利用 .....	26
8-1 機能 .....	28
8-2 他アプリケーションでの使用方法.....	31
8-2-1 ファイル名を指定して実行 から使用する .....	31
8-2-2 パワーポイント から使用する .....	32
8-2-3 エクセル から使用する .....	34

# 1 Downloader の機能

Downloader は、WindO/I-NV2 および WindO/I-NV3 とは別に単独で動作させることができ、ユーザが WindO/I-NV2 および WindO/I-NV3 の操作を知らなくても、簡単にデータを MICRO/I および Smart AXIS Touch と通信することができます。また複数のデータを複数の MICRO/I および Smart AXIS Touch と通信することができます。

Downloader には以下の機能があります。

- ・ プロジェクトデータをクイック操作で MICRO/I、Touch にダウンロード、アップロード
- ・ MICRO/I、Touch 内に保存されている履歴データ（アラーム履歴のデータ、データ履歴のデータおよび操作履歴のデータ）を CSV ファイルとしてパソコンへアップロード
- ・ MICRO/I、Touch 内に保存されている履歴データ（アラーム履歴のデータ、データ履歴のデータおよび操作履歴のデータ）およびすべてのデバイスデータをクリア
- ・ レシピデータ、プロジェクトデータ、ピクチャデータ、サウンドデータ、PLC プログラムデータ、動画ファイルリスト、動画データを外部メモリへダウンロード
- ・ 外部メモリ内のデータのアップロード、クリア
- ・ 外部メモリのフォーマット
- ・ 登録図形データ、テキストデータの変更
- ・ 指定したデバイスデータの読み出し、書き込み
- ・ システム情報の表示



データファイルのクリア、外部メモリのフォーマット

## 2 動作環境

---

Downloader の動作環境を示します。

項目	仕様
OS	Windows 10/8/7
コンピュータ本体	PC-AT および互換機
CPU	1GHz 以上の CPU
メモリ	512MB の RAM (1 GB 推奨)
ハードディスク	800MB のハードディスク領域
グラフィック	スクリーン解像度 XGA (1024 x 768) 以上
利用者	管理者アカウント

注意：

- ・ USB インタフェース搭載の機種をご使用のパソコンに接続するには、以下の環境が必要です。

HG2F 形：OS が Windows 10/8/7 で USB1.1 対応のインタフェースを備えていること

HG2G-5F/HG3G/HG4G/Touch 形：OS が Windows 10/8/7 で USB1.1/2.0 対応のインタフェースを備えていること

- ・ USB ポートを使用する MICRO/I、Touch を初めてパソコンに接続する場合は WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 または Downloader をあらかじめインストールしてから接続してください。インストールされていないパソコンに接続するとソフトウェアのインストールを要求されますので、キャンセルしてから上記ソフトのいずれかをインストールしてから接続してください。

## 3 制限事項

---

Downloader を使用するうえで以下の制限事項があります。

- **WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 および MICRO/I、Touch 本体システムのバージョン**

Downloader は、WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 あるいはシステム ソフトウェアのバージョンによる以下のような制限があります。

Downloader 用プロジェクトデータのダウンロード：	WindO/I-NV2 Ver.2.82 以降
外部メモリ用プロジェクトデータのダウンロード：	WindO/I-NV2 Ver.2.50 以降
アップロード：	すべての WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 (ただし、プロジェクトデータのアップロードはシステム ソフトウェア Ver.2.00 以降)
クリア：	すべての WindO/I-NV2、WindO/I-NV3
外部メモリメンテナンス：	システム ソフトウェア Ver.1.80 以降 (ただし、運転中のレシピデータのダウンロード、プロジェクトデータのダウンロードはシステム ソフトウェア Ver.2.00 以降)
登録図形データ/テキストデータの変更：	WindO/I-NV2 Ver.3.30 以降
デバイスデータの読み出し/書き出し：	WindO/I-NV2 Ver.3.30 以降
システム情報：	すべての WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 (ただし、外部メモリ情報はシステム ソフトウェア Ver.1.80 以降)
サウンドデータ：	WindO/I-NV2 Ver.4.20 以降

HG3G/HG4G/Touch 形および WindOI-NV2 Ver.4.40、WindO/I-NV3 Ver.5.00 以降をご利用の場合、すべての機能を使用することができます。

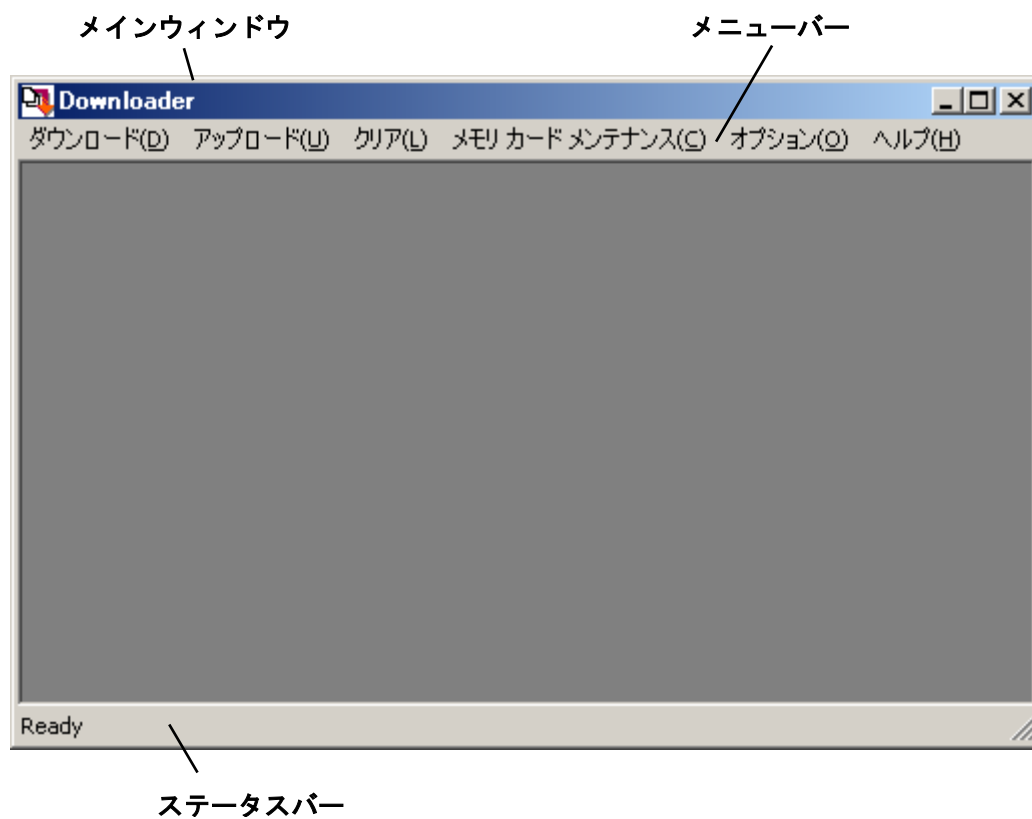
- **履歴データのフォーマット**

Downloader でアップロードされた履歴データ（アラーム履歴のデータ、データ履歴のデータおよび操作履歴のデータ）のフォーマットは外部メモリに保存されているフォーマットと同様、CSV ファイル形式で作成されます。

詳細は、「7 履歴データのフォーマット」を参照してください。

## 4 画面構成

Downloader の画面構成は以下とおりです。



メインウィンドウ	Downloader の作業領域です。
メニューバー	各機能を選択します。
ステータスバー	選択中のメニューの内容を表示します。

## 5 使用方法

ここでは Downloader の使用方法を順に説明します。

### 5-1 Downloader の起動

- Windows 10  
[スタート] ボタン、[すべてのアプリ]、[IDEC Automation Organizer]、[Downloader] の順でクリックします。
- Windows 8  
スタート画面のタイルで [Downloader] をクリックします。
- Windows 7  
[スタート] ボタン、[プログラム]、[IDEC Automation Organizer]、[Downloader] の順でクリックします。

Downloader が起動します。

### 5-2 通信設定

MICRO/I、Touch とパソコン間での通信時の設定は以下の操作を行ってください。

- ① メニューバーの【オプション】 - 【通信設定】を選択してください。
- ② 通信先を選択します。  
MICRO/I、Smart AXIS Touch を選択した時は、1 つの機器（マスタ）と通信します。  
O/I リンクスレーブを選択した時は、スレーブ局の複数の MICRO/I、Touch と通信できます。  
外部メモリは、登録図形データ/テキストデータの変更のみ使用できます。
- ③ ポートを選択します。

**COM :** 使用するポートを COM1~256 から選択でき、通信速度を設定することができます。

**イーサネット :**

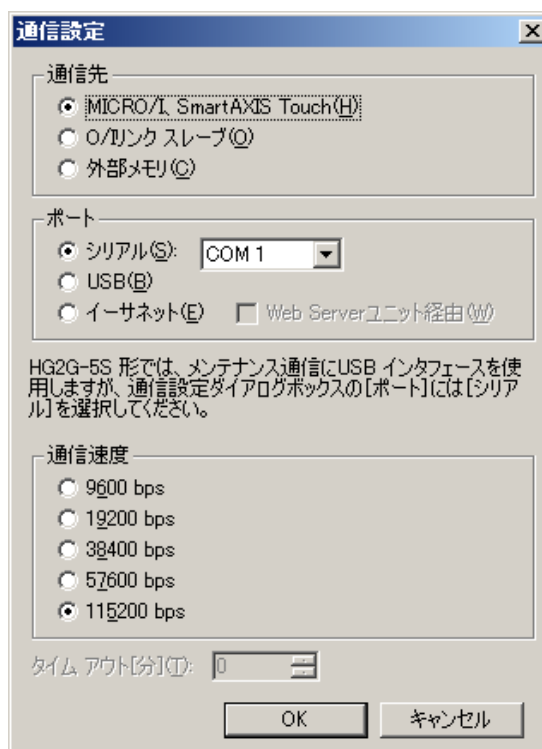
タイムアウト時間を分単位で設定できます。タイムアウトは MICRO/I、Touch からの応答待ち時間です。

**イーサネット (Web Server ユニット) :**

Web Server ユニットは弊社製の機器で、RS232C-イーサネット変換器です。メンテナンス（シリアル 2）ポートにこの Web Server ユニートを接続することによって、イーサネット経由で通信が可能です。この場合、通信速度は Web Server ユニットと MICRO/I 間のシリアル通信の速度で、タイムアウトは PC (Downloader) と Web Server ユニット間のタイムアウト時間です。

Web Server ユニットの詳細は、この機器のマニュアルを参照してください。ただし、HG2G/HG3G/HG4G/Touch 形をご使用の場合はこのポートで通信することはできません。

**USB :** MICRO/I、Touch の USB ポートを使用する場合に選択してください。





## 5-3 プロジェクトのダウンロード

Downloader では、WindO/I-NV2 や WindO/I-NV3 で Downloader 用に作成したプロジェクトデータ、もしくは外部メモリ用プロジェクトデータを MICRO/I、Touch にダウンロードすることができます。

とりわけ、Downloader 用プロジェクトデータ(\*z2g/z3g/z1f/z2f/z2s/z3f/z4f/zft)はクイック操作で簡単に MICRO/I、Touch にダウンロードすることができます。

また Downloader 用プロジェクトデータによっては、システム ソフトウェアや、拡張フォントも一緒にダウンロードをすることが出来ます。

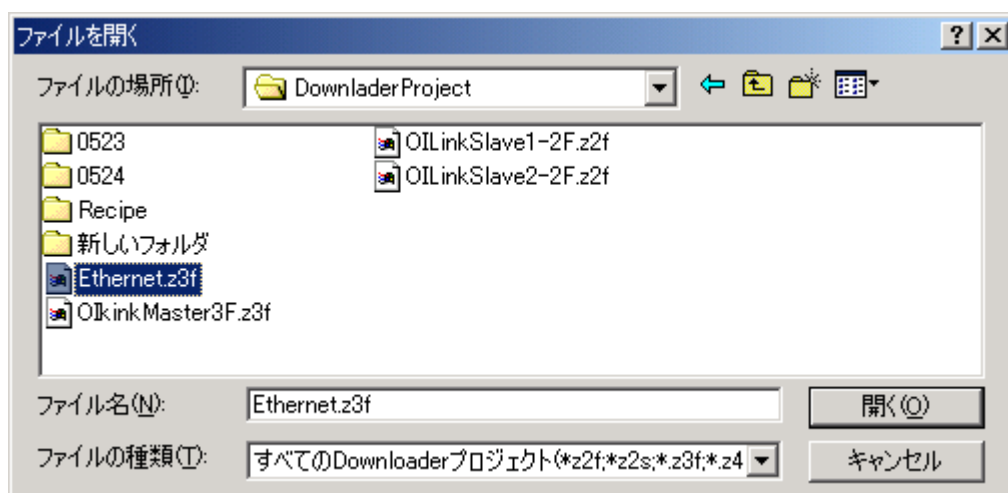
⇒ これらをダウンロードする設定方法については、「8 ダウンロードオプション」を参照してください。

プロジェクトをダウンロードするには以下の操作を行ってください。

### ● プロジェクトデータのダウンロード

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM ポートもしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの **【ダウンロード】 - 【Downloader 用プロジェクト】** を選択してください。
- ② 「ファイルを開く」ダイアログボックスからダウンロードする Downloader 用プロジェクトデータのファイルを選択して、**【開く】** ボタンをクリックしてください。



- ③ ダウンロードの確認メッセージが表示されるので、**【はい】** ボタンをクリックしてください。
- ④ ダウンロードが開始され、進行状況が表示されます。この場合の通信条件は、**【オプション】 - 【通信設定】** で設定された条件です。
- ⑤ ダウンロードが終了したら、**【閉じる】** ボタンをクリックしてください。

### ● Downloader 用プロジェクトデータをクイック操作でダウンロード

- ① Downloader 用プロジェクトデータのファイルをエクスプローラ上でダブルクリックしてください。Downloader が自動的に起動し、MICRO/I、Touch と通信を始めます。  
⇒ この時の通信条件は、このプロジェクトデータを WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 で作成した際に設定した通信条件です。

- ② ダウンロードの確認メッセージが表示されるので、**【はい】** ボタンをクリックしてください。
- ③ ダウンロードが開始され進行状況が表示されます。

④ ダウンロードが終了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

● **外部メモリ用プロジェクトデータのダウンロード**

- ① メニューバーの [ダウンロード] - [外部メモリ用プロジェクト] を選択してください。
- ② 「外部メモリフォルダの選択」 ダイアログボックスからダウンロードするアクセスフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックしてください。



- ③ ダウンロードの確認メッセージが表示されるので [はい] ボタンをクリックしてください。
- ④ ダウンロードが開始され進行状況が表示されます。この場合の通信条件は、[オプション] - [通信設定] で設定された条件です。
- ⑤ ダウンロードが終了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Administrator グループが割り当てられたユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。このユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとダウンロードを続行します。ただし、システム ソフトウェアが Ver.1.90 以前の場合、ユーザ名の選択は不要です。
- ▶ 外部メモリに保存されたプロジェクトデータは、システム ソフトウェアとフォントデータが含まれていなくてはなりません。  
このダウンロードの場合、システム ソフトウェアと拡張フォントデータも含まれていなければなりません。

## 通信設定による操作手順の違い

設定によって通信開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I、Smart AXIS Touch] かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して [OK] ボタンをクリックしてください。
3. ダウンロードが始まります。

通信先：[O/I リンクスレーブ]

1. 「通信先スレーブ」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先のスレーブ局を選択して [OK] ボタンをクリックします。
  - ➡ ポートが [イーサネット] の時のみ、[マスタ IP アドレス] 編集ボックスと [...] ボタンが表示されます。通信先 IP アドレスも指定してください。
3. ダウンロードが始まります。

## 5-4 プロジェクトデータのアップロード


---

Downloader では、MICRO/I、Touch 内のプロジェクトデータをフロントデータ、システム ソフトウェア、外部メモリ内のレシピデータと一緒にアップロードすることができます。

プロジェクトデータをアップロードするには以下の操作を行ってください。

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの **【アップロード】 - 【プロジェクト】** を選択してください。
- ② 「プロジェクトのアップロード」ダイアログボックスが表示されるので一緒にアップロードしたいデータにチェックをつけてください。
- ③ アップロードしたプロジェクトデータを保存するフォルダ先を指定して **【OK】** ボタンをクリックしてください。
- ④ アップロードが開始され、進行状況が表示されます。
- ⑤ アップロードが終了したら、**【閉じる】** ボタンをクリックしてください。

- ▶ プロジェクトデータのみをアップロードする場合はチェックボックスにチェックをつけずにアップロードしてください。
- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Administrator グループが割り当てられたユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとアップロードを続行します。
- ▶ Downloader でアップロードしたプロジェクトは、Downloader 用のプロジェクトデータです。WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 で開いて編集したい場合は、**アプリケーションメニュー**  **【開く】 - 【その他の形式】** から行ってください。

## 5-5 履歴データのアップロード

---

Downloader では MICRO/I、Touch 内部メモリ内のアラーム履歴のデータ、データ履歴のデータおよび操作履歴のデータを同時に、またはそれぞれアップロードすることができます。

O/I リンクスレーブ、Ethernet の場合、複数台の履歴データを同時にアップロードすることができます。

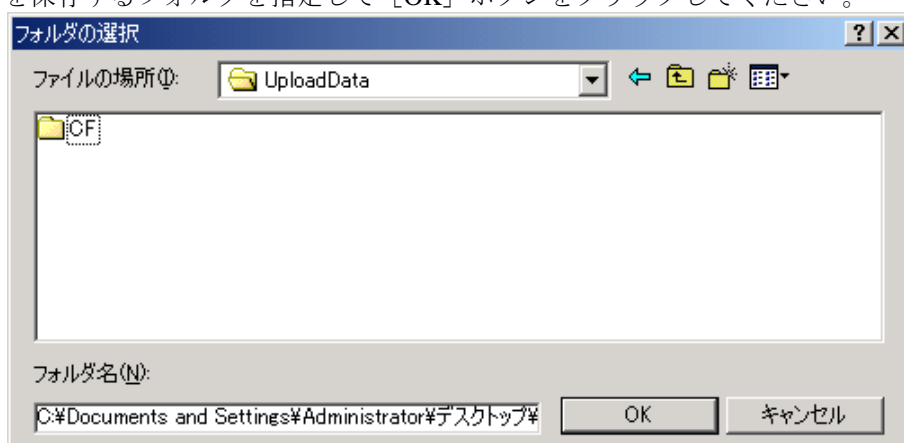
履歴データをアップロードするには以下の操作を行ってください。

### ● すべての履歴データをアップロード

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの **【アップロード】 - 【すべての履歴データ】** を選択してください。

- ② 「フォルダの選択」ダイアログボックスが表示されるので、アップロードしたデータファイルを保存するフォルダを指定して [OK] ボタンをクリックしてください。



- ③ アップロードが開始され、進行状況が表示されます。  
④ アップロードが終了したら、「閉じる」ボタンをクリックしてください。

- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Reader グループがユーザ名に割り当てられ、そのユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワード、あるいは Administrator もしくは Operator グループが割り当てられたユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとアップロードを続行します。  
ただし、システム ソフトウェアが Ver.1.90 以前の場合、ユーザ名の入力是不要です。
- ▶ アラーム履歴のデータのみ、データ履歴のデータのみまたは操作履歴のデータのみをアップロードする場合は、操作①でメニューバー [アップロード] から、それぞれ [アラームの履歴データ]、[データ履歴のデータ] または [操作履歴のデータ] を選択してください。  
以後の手順は同じです。

## 通信設定による操作手順の違い

設定によって通信開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I、Smart AXIS Touch] かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して [OK] ボタンをクリックしてください。
3. アップロードが始まります。
4. アップロードされたデータは IP アドレス番号の名前の付けられたフォルダに保存されます。

通信先：[O/I リンクスレーブ]

1. 「通信先スレーブ」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先のスレーブ局を選択して [OK] ボタンをクリックします。
  - ➡ ポートが [イーサネット] の時のみ、[マスタ IP アドレス] 編集ボックスと [...] ボタンが表示されます。通信先 IP アドレスも指定してください。
3. アップロードが始まります。
4. アップロードされたデータはスレーブ番号の名前の付けられたフォルダに保存されます。

## 5-6 履歴データのクリア

Downloader では MICRO/I、Touch 内部メモリ内の履歴データ（アラーム履歴のデータ、データ履歴のデータおよび操作履歴のデータ）を同時に、またはそれぞれクリアすることができます。HG2G/HG3G/HG4G/Touch に対しては、デバイスデータのクリアも可能です。

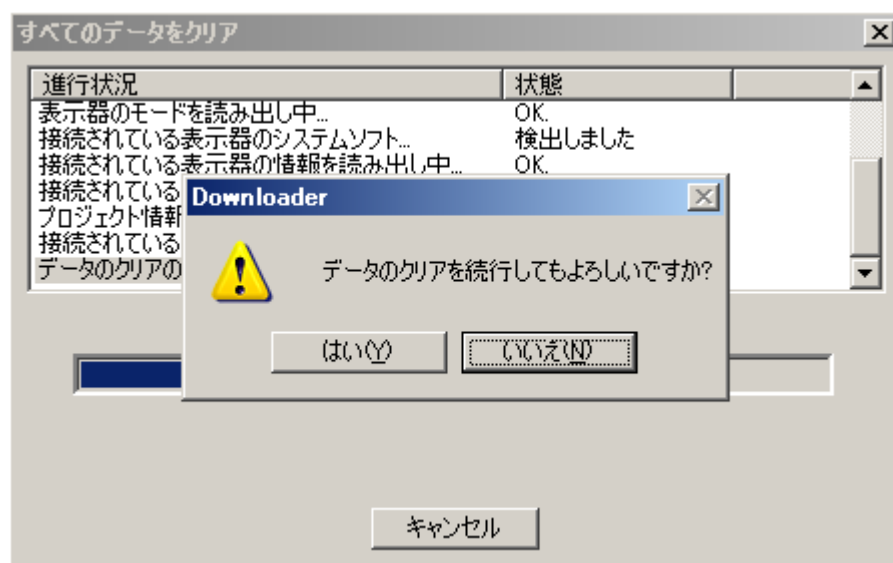
O/I リンクスレーブ、Ethernet の場合、複数台の履歴データを同時にクリアすることができます。

履歴データをクリアするには、以下の操作を行ってください。

### ● すべての履歴データをクリア

（以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします）

- ① メニューバーの **【クリア】** - **【すべての履歴データ】** を選択してください。
- ② クリアの確認メッセージが表示されるので **【はい】** ボタンをクリックしてください。



- ③ クリアが開始され、進行状況が表示されます。
- ④ クリアが終了したら、**【閉じる】** ボタンをクリックしてください。

- ▶ アラーム履歴のデータのみ、データ履歴のデータまたは操作履歴のデータのみをクリアする場合は、操作①でメニューバー **【クリア】** から、それぞれ **【アラーム履歴のデータ】**、**【データ履歴のデータ】** または **【操作履歴のデータ】** を選択してください。以後の手順は同じです。
- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Administrator グループが割り当てられたユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。このユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとクリアを続行します。  
ただし、システム ソフトウェアが Ver.1.90 以前の場合、ユーザ名の選択は不要です。

### 通信設定による操作手順の違い

設定によって通信開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I]、Smart AXIS Touch かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して **【OK】** ボタンをクリックしてください。
3. クリアが始まります。

通信先：[O/I リンクスレーブ]

1. 「通信先スレーブ」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先のスレーブ局を選択して [OK] ボタンをクリックします。  
⇒ ポートが [イーサネット] の時のみ、[マスタ IP アドレス] 編集ボックスと [...] ボタンが表示されます。通信先 IP アドレスも指定してください。
3. クリアが始まります。

## 5-7 外部メモリメンテナンス

---

Downloader では、MICRO/I、Touch 本体に挿入されている外部メモリ内のデータをメンテナンスすることができます。

O/I リンクスレーブ、Ethernet の場合、複数台の外部メモリメンテナンスを同時にすることができます。

MICRO/I、Touch で運転中のプロジェクトで設定された外部メモリフォルダ内のデータがメンテナンスの対象となります。

メンテナンス内容は以下の 6 つです。

- プロジェクトデータをダウンロード  
プロジェクトデータを外部メモリにダウンロードします。
- ファイルをダウンロード  
レシピデータ、ピクチャデータ、サウンドデータ、PLC プログラムデータ、動画ファイルリスト、動画ファイルを外部メモリ内の対応フォルダにダウンロードします。
- 運転中にファイルをダウンロード  
MICRO/I、Touch の運転を停止することなくレシピデータ、ピクチャデータ、サウンドデータ、PLC プログラムデータ、動画ファイルリスト、動画ファイルを外部メモリ内の対応フォルダにダウンロードします。
- アップロード  
外部メモリ内の履歴データ（アラーム履歴のデータ、データ履歴のデータおよび操作履歴のデータ）、レシピデータ、画面のハードコピーデータ、ピクチャデータ、サウンドデータ、PLC プログラムデータ、動画ファイルリスト、動画ファイルを任意の場所にアップロードします。
- クリア  
外部メモリ内の履歴データ（アラーム履歴のデータ、データ履歴のデータおよび操作履歴のデータ）、レシピデータ、画面のハードコピーデータ、プロジェクトデータ、PLC プログラムデータ、動画ファイル、録画した動画ファイルをクリア（削除）します。
- フォーマット  
外部メモリをフォーマットします。

外部メモリのメンテナンスを行うには以下の操作をしてください。

（以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします）

### ● プロジェクトデータをダウンロード

- ① メニューバーの [外部メモリメンテナンス] - [プロジェクトをダウンロード] を選択してください。
- ② 「ファイルを開く」ダイアログが表示されるので、ダウンロードするプロジェクトデータを選択して [開く] ボタンをクリックしてください。
- ③ ダウンロードの確認メッセージが表示されるので [OK] ボタンをクリックしてください。
- ④ ダウンロードが開始され進行状況が表示されます。



- ⑤ ダウンロードが終了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Operator グループがユーザ名に割り当てられ、そのユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワード、あるいは Administrator グループが割り当てられたユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとダウンロードを続行します。
- ▶ 外部メモリへプロジェクトデータをダウンロードする時、プロジェクトデータにシステムソフトウェアと拡張フォントが含まれてなければなりません。  
ダウンロードにはシステム ソフトウェアと拡張フォントの含まれたプロジェクトデータを選択してください。

## ● ファイルをダウンロード

- ① メニューバーの [外部メモリメンテナンス] - [ファイルをダウンロード] を選択してください。
  - ② 「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されるのでダウンロードするデータのファイルを選択して [開く] ボタンをクリックしてください。
  - ③ ダウンロードの確認メッセージが表示されるので [OK] ボタンをクリックしてください。
  - ④ ダウンロードが開始され、進行状況が表示されます。
  - ⑤ ダウンロードが終了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。
- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Administrator グループが割り当てられたユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとクリアを続行します。  
ただし、システム ソフトウェアが Ver.1.90 以前の場合、ユーザ名の選択は不要です。

## ● 運転中にファイルをダウンロード

- ① メニューバーの [外部メモリメンテナンス] - [運転中にファイルをダウンロードする] を選択してください。
  - ② 以後の手順はレシピデータのダウンロードと同じです。
- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Operator グループがユーザ名に割り当てられ、そのユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワード、あるいは Administrator グループが割り当てられたユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとダウンロードを続行します。
  - ▶ 通信設定で [通信先] が [O/I リンクスレーブ] の場合、運転中にレシピデータをダウンロードすることはできません。

## ● 外部メモリ内のデータのアップロード

- ① メニューバーの [外部メモリメンテナンス] - [アップロード] を選択してください。
- ② 「外部メモリからアップロード」ダイアログボックスが表示されるので、アップロードしたいデータにチェックをつけてください。
- ③ [...] ボタンをクリックして、アップロードしたデータファイルを保存するフォルダを選択した後、[OK] ボタンをクリックしてください。
- ④ アップロードの確認メッセージが表示されるので、[はい] ボタンをクリックしてください。
- ⑤ アップロードが開始され、進行状況が表示されます。
- ⑥ アップロードが終了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Reader グループがユーザ名に割り当てられ、そのユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワード、あるいは Administrator もしくは Operator グループが割り当てられたユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとアップロードを続行します。  
ただし、システム ソフトウェアが Ver.1.90 以前の場合、ユーザ名の入力是不要です。

## ● 外部メモリ内のデータのクリア

- ① メニューバーの **【外部メモリメンテナンス】 - 【クリア】** を選択してください。
  - ② 「データのクリア」ダイアログボックスが表示されるので、削除したいデータにチェックをつけて **【OK】** ボタンをクリックしてください。
  - ③ クリアの確認メッセージが表示されるので **【はい】** ボタンをクリックしてください。
  - ④ クリアが開始され、進行状況が表示されます。
  - ⑤ クリアが終了したら、**【閉じる】** ボタンをクリックしてください。
- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Administrator グループが割り当てられたユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとクリアを続行します。  
ただし、システム ソフトウェアが Ver.1.90 以前の場合、ユーザ名の選択は不要です。

## ● 外部メモリのフォーマット

- ① メニューバーの **【外部メモリメンテナンス】 - 【フォーマット】** を選択してください。
  - ② フォーマットの確認メッセージが表示されるので、**【はい】** ボタンをクリックしてください。
  - ③ フォーマットが開始され、進行状況が表示されます。
  - ④ フォーマットが終了したら、**【閉じる】** ボタンをクリックしてください。
- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Administrator グループが割り当てられたユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されるとフォーマットを続行します。  
ただし、システム ソフトウェアが Ver.1.90 以前の場合、ユーザ名の選択は不要です。

## 通信設定による操作手順の違い

設定によって通信開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I、Touch] かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して **【OK】** ボタンをクリックしてください。
3. 通信が始まります。

通信先：[O/I リンクスレーブ]

1. 「通信先スレーブ」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先のスレーブ局を選択して **【OK】** ボタンをクリックします。
- ⇨ ポートが [イーサネット] の時のみ、[マスタ IP アドレス] 編集ボックスと **【…】** ボタンが表示されます。通信先 IP アドレスも指定してください。
3. 通信が始まります。



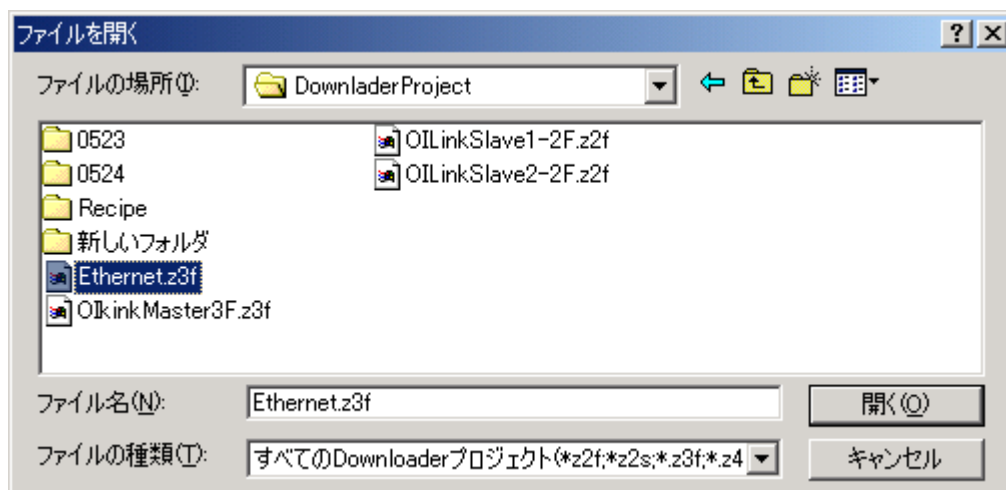
## 5-8 登録図形の変更

Downloader では登録図形のみを変更することができます。変更するには、Downloader 用のプロジェクトデータを開くか、MICRO/I からピクチャデータをアップロードする方法があります。登録図形の変更は、ピクチャマネージャーで行います。既に登録されている登録図形名と同じファイル名の図形データをインポートすると、そのイメージが上書き変更されます。インポート可能な図形データは、BMP、WMF、DXF、JPEG、ICO ファイルです。登録図形を変更するには、以下の操作を行ってください。この機能は HG2G-5F/HG3G/HG4G/Touch では使用できません。メニューバーの **【外部メモリメンテナンス】 - 【ファイルを外部メモリにダウンロードする】** から、ピクチャデータを変更してください。

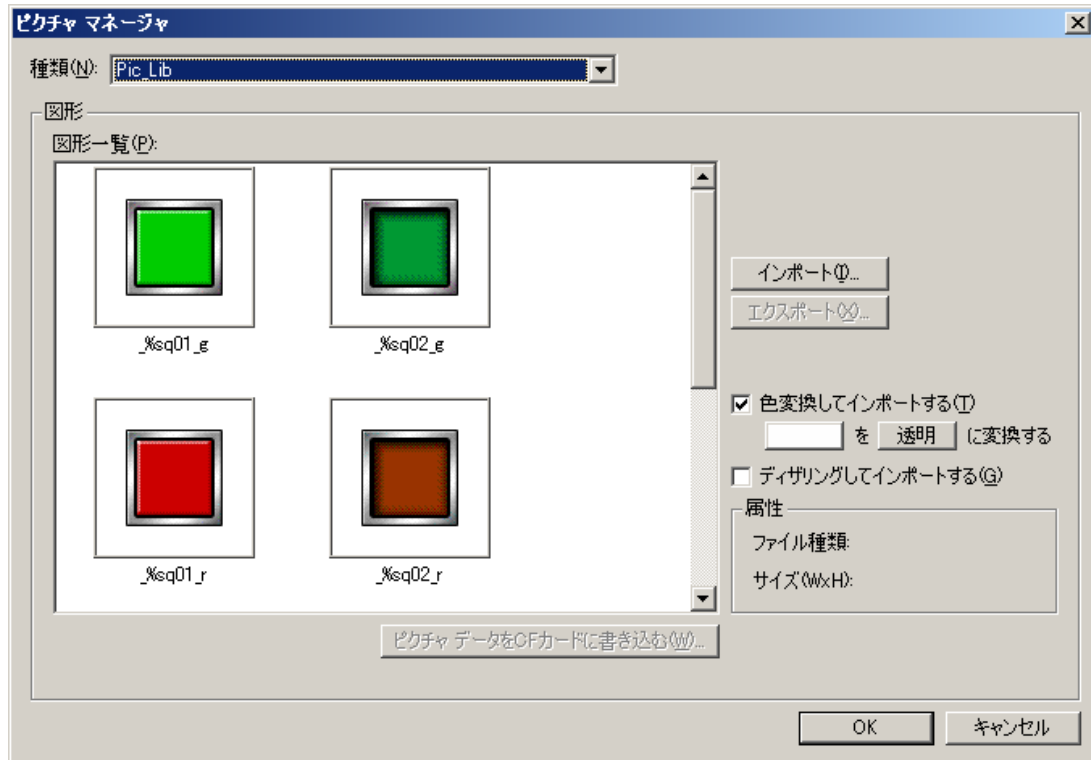
### ● Downloader 用のプロジェクトデータの登録図形を変更

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの **【オプション】 - 【登録図形の変更】 - 【Downloader 用プロジェクトの登録図形】** を選択してください。
- ② 「ファイルを開く」ダイアログボックスから登録図形を変更する Downloader 用プロジェクトデータのファイルを選択して、**【開く】** ボタンをクリックしてください。



③ ピクチャマネージャーが表示されるので、そこで変更したい登録図形を変更してください。



- 種類： 種類を変更すると、図形一覧に表示されるイメージが変わります。
- インポート： 「ファイルを開く」ダイアログボックスから、変更する登録図形を選択してください。選択したファイル名は、図形一覧に既に登録されている登録図形名と同じでなければなりません。  
また、イメージのサイズが異なる場合、MICRO/I 上で自動的に拡大/縮小され、異なるイメージで表示される場合があります。
- エクスポート： 図形一覧で選択した登録図形をビットマップファイルに変換してエクスポートします。エクスポートした登録図形のイメージをペイントブラシなどのエディタソフトで変更し、インポートすると、イメージの変更になります。
- 色変換してインポートする： このチェックボックスを ON にすると、図形を登録する時に、色を変換してインポートします。変換元の色と変換後の色を指定してください。変換後の色に透明を選択することもできます。
- ディザリングしてインポートする： このチェックボックスを ON にすると、図形を登録する時に、誤差拡散方式でディザリングします。グラデーションのかかった図形や写真のような図形を登録するときは、誤差拡散方式でディザリングすると、きれいに登録できる場合があります。
- 属性： 図形一覧で選択されている図形の属性を表示します。  
ファイル種類： 登録されているファイルの種類が表示されます。  
サイズ(W\*H)： ファイルサイズが表示されます。
- ピクチャデータを外部メモリに書き込む： このボタンをクリックすると、図形一覧でチェックが付いているすべての登録図形データが1つのファイルで外部メモリに保存されます。

- ④ [OK] ボタンをクリックすると、変更されたピクチャデータのダウンロードが開始され、進行状況が表示されます。
- ⑤ 登録図形変更後、プロジェクト容量がダウンロード可能な容量を超えた場合、ダウンロード中にエラーとなります。
- ⑥ ダウンロードが終了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

## ● アップロードされた登録図形

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの **【オプション】 - 【登録図形の変更】 - 【アップロードされた登録図形】** を選択してください。
  - ② アップロードが開始され、進行状況が表示されます。
  - ③ ピクチャデータのアップロードが終了したら、ピクチャマネージャーが表示されるので、そこで変更したい登録図形を変更してください。ピクチャマネージャーについては、上記「Downloader 用のプロジェクトデータの登録図形を変更」を参照。
  - ④ **【OK】** ボタンをクリックすると、変更された登録図形データのダウンロードが開始されます。
  - ⑤ 登録図形変更後、プロジェクト容量がダウンロード可能な容量を超えた場合、ダウンロード中にエラーとなります。
  - ⑥ ダウンロードが終了したら、**【閉じる】** ボタンをクリックしてください。
- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Administrator グループがユーザ名に割り当てられ、そのユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。このユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されると次の処理を続行します。

## 通信設定による操作手順の違い

設定によって通信開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I、Smart AXIS Touch] かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して **【OK】** ボタンをクリックしてください。
3. 通信が始まります。

通信先：[O/I リンクスレーブ]

1. 「通信先スレーブ」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先のスレーブ局を選択して **【OK】** ボタンをクリックします。
- ⇒ ポートが [イーサネット] の時のみ、[マスタ IP アドレス] 編集ボックスと **【…】** ボタンが表示されます。通信先 IP アドレスも指定してください。
3. 通信が始まります。

## 5-9 テキストの変更

Downloader ではテキストデータのみを変更することができます。変更するには、Downloader 用のプロジェクトデータを開くか、MICRO/I、Touch からテキストマネージャーのテキストデータをアップロードする方法があります。

テキストの変更は、テキストマネージャーで行います。既に登録されているテキスト ID に対して、テキストを変更し、**【編集】** ボタンをクリックすると、テキストが変更されます。

テキストデータを変更するには、以下の操作を行ってください。

### ● Downloader 用のプロジェクトデータのテキストを変更

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの **【オプション】 - 【テキストの変更】 - 【Downloader 用プロジェクトのテキスト】** を選択してください。
- ② 「ファイルを開く」ダイアログボックスからテキストを変更する Downloader 用プロジェクトデータのファイルを選択して、**【開く】** ボタンをクリックしてください。

③ テキストマネージャーが表示されるので、そこで変更したいテキストを編集してください。

テキスト ID : テキスト一覧で選択したテキストの ID が表示されます。

テキストグループ : 変更したいテキストのテキストグループを変更できます。変更後、テキスト一覧に表示されているテキストが変わります。

テキスト属性 : テキストだけでなく、フォント、文字色も変更可能です。

3750 文字（半角換算）までのテキストを入力できます。[>>] ボタンをクリックすると Unicode 入力用のウィンドウが表示され、OS 標準入力言語以外の言語を入力することができます。

テキスト一覧 : テキストマネージャーに登録されたテキストが表示されます。複数行のテキストの場合、¥n で改行位置を示しています。

編集 : テキスト一覧で選択されているテキスト ID のテキストが、テキスト属性に表示されているフォント、文字色、テキストに変更します。

検索 : 検索用のウィンドウが表示され、そこで指定した文字列を検索します。

置換 : 置換用のウィンドウが表示され、そこで指定した文字列を置換します。

インポート : テキスト設定リストをインポートすることによってテキスト設定を変更することができます。登録しているテキストを一度エクスポートし、そのファイルを変更後インポートすることを推奨します。

テキスト設定リストファイルの拡張子は\*.txt または\*.csv です。（ファイルタイプはカンマ区切りまたはセミコロン区切りの(\*.csv)、カンマ区切りまたはセミコロン区切りの(\*.txt)、Unicode 形式タブ区切り (\*.txt) から選んでください。）

テキスト設定リストファイルはテキスト ID、フォント、テキストで構成されますが、読み込むのはフォント、テキストです。読み込む際フォント名は選択できる名前と合致している必要があります。

Unicode 形式を用いると Unicode 対応しているアプリケーションを使用して多言語を扱うことができます。

- エクスポート： 現在のテキスト設定をファイルとしてエクスポートすることができます。  
テキストマネージャーで設定している内容を保存します。保存するファイルの拡張子は\*.csv または\*.txt です。カンマ(,)区切り、セミコロン(;)区切り、タブ区切りが選択できます。Unicode 形式を選択することもできます。  
Unicode 形式を用いると Unicode 対応しているアプリケーションを使用して多言語を扱うことができます。
- ④ [OK] ボタンをクリックすると、変更されたテキストデータのダウンロードが開始され、進行状況が表示されます。
  - ⑤ テキスト変更後、プロジェクト容量がダウンロード可能な容量を超えた場合、ダウンロード中にエラーとなります。
  - ⑥ ダウンロードが終了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

## ● アップロードされたテキスト

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの【オプション】-【テキストデータの変更】-【アップロードされたテキスト】を選択してください。
  - ② アップロードが開始され、進行状況が表示されます。
  - ③ テキストデータのアップロードが終了したら、テキストマネージャーが表示されるので、そこで変更したい登録図形を変更してください。テキストマネージャーについては、上記「Downloader 用のプロジェクトデータのテキストを変更」を参照。
  - ④ [OK] ボタンをクリックすると、変更されたテキストデータのダウンロードが開始されます。
  - ⑤ テキスト変更後、プロジェクト容量がダウンロード可能な容量を超えた場合、ダウンロード中にエラーとなります。
  - ⑥ ダウンロードが終了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。
- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Administrator グループがユーザ名に割り当てられ、そのユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されると次の処理を続行します。

## 通信設定による操作手順の違い

設定によって通信開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I、Smart AXIS Touch] かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して [OK] ボタンをクリックしてください。
3. 通信が始まります。

通信先：[O/I リンクスレーブ]

1. 「通信先スレーブ」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先のスレーブ局を選択して [OK] ボタンをクリックします。
- ⇒ ポートが [イーサネット] の時のみ、[マスタ IP アドレス] 編集ボックスと [...] ボタンが表示されます。通信先 IP アドレスも指定してください。
3. 通信が始まります。

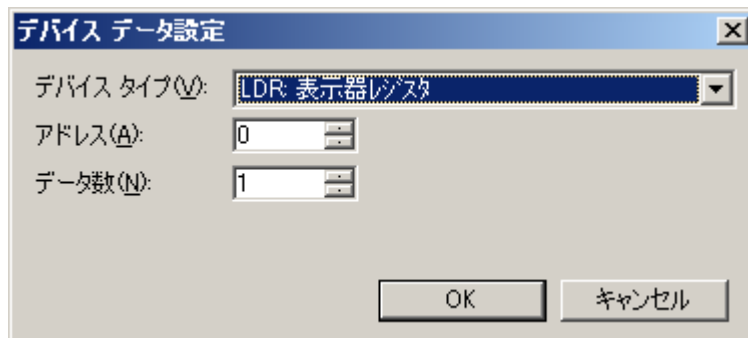
## 5-10 デバイスデータの読み出し

Downloader では指定したデバイスアドレスに格納されているデータを読み出し、CSV ファイルに保存することができます。

デバイスデータの読み出しには、以下の操作を行ってください。

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの **【オプション】 - 【デバイスデータの読み出し】** を選択してください。
- ② 「デバイスデータ設定」ダイアログボックスから読み出すデバイスアドレスの先頭アドレスとそのデータ数（ワード数）を設定してください。



- ③ 「ファイルを保存」ダイアログボックスから、読み出したデータを保存するファイル名および保存先を指定してください。
- ④ デバイスデータの読み出しが開始され、進行状況が表示されます。
- ⑤ 読み出し完了後、データが CSV 形式で保存されます。

- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Reader グループがユーザ名に割り当てられ、そのユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワード、あるいは Administrator もしくは Operator グループが割り当てられたユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されると読み込みを続行します。

### 通信設定による操作手順の違い

設定によって通信開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I、Smart AXIS Touch] かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して [OK] ボタンをクリックしてください。
3. デバイスデータの読み出しが始まります。
4. 読み出されたデータは IP アドレス番号の名前の付けられたフォルダに保存されます。

通信先：[O/I リンクスレーブ] 未対応

## 5-11 デバイスデータの書き込み

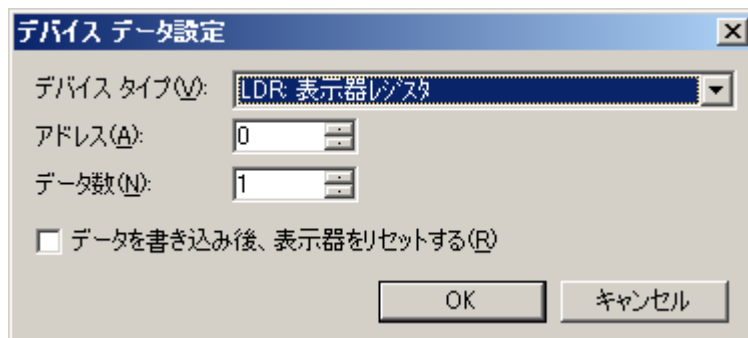
Downloader では指定したデバイスアドレスに CSV ファイルに保存されたデータを書き込むことができます。

デバイスデータの書き込みには、以下の操作を行ってください。

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM もしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの **【オプション】 - 【デバイスデータの書き込み】** を選択してください。
- ② 「デバイスデータ設定」ダイアログボックスから書き込むデバイスアドレスの先頭アドレスとそのデータ数（ワード数）を設定してください。

書き込み後、MICRO/I、Touch をリセットしたい場合は、「データを書き込み後、表示器をリセットする」を ON にしてください。



- ③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスから、書き込むデータが保存されているファイルを指定してください。
- ④ デバイスデータの書き込みが開始され、進行状況が表示されます。
- ⑤ 書き込み完了後、「データを書き込み後、表示器をリセットする」が ON の場合、MICRO/I、Touch がリセットされます。OFF の場合は、リセットしません。

- ▶ 通信する MICRO/I、Touch に Operator グループがユーザ名に割り当てられ、そのユーザ名にパスワードが設定されている場合、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。  
このユーザ名に対するパスワード、あるいは Administrator グループが割り当てられたユーザ名に対するパスワードを入力してください。  
正しいパスワードが入力されると書き込みを続行します。

### 通信設定による操作手順の違い

設定によって通信開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I、Smart AXIS Touch] かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して [OK] ボタンをクリックしてください。
3. デバイスデータの書き込みが始まります。

通信先：[O/I リンクスレーブ] 未対応



## 5-12 システム情報

MICRO/I、Touch のシステムソフトウェアとダウンロードされているプロジェクト情報を確認することが出来ます。

システム情報を確認するには以下の操作を行ってください。

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートをシリアルもしくは USB を選択時とします)

- ① メニューバーの **【オプション】 - 【システム情報】** を選択してください。
- ② 通信がすぐに始まりプロジェクト情報を表示します。

システム情報

システム プログラム情報

機種: FT1A-C12RA-\*

システムソフト バージョン: 3.73

ダウンロード サイズ[バイト]: 5177344

システム フォント情報(F)... 外部メモリ情報(Q)...

接続機種内のプロジェクト情報

プロジェクト名: temp2

更新日: 2013年2月18日 18:22:32

プロジェクト バージョン: 5.0011

PLCメーカー: Modicon

ホストI/Fドライバ: MODBUS RTU - 1:N通信

ホストI/Fドライバ バージョン: 0.91

編集中のプロジェクト情報

プロジェクト名: 不明

更新日: 不明

プロジェクト バージョン: 不明

OK

- ▶ このとき **【システムフォント情報】** ボタンをクリックすると MICRO/I、Touch 内にダウンロードされている拡張フォントの情報を確認することが出来ます。
- ▶ このとき **【外部メモリ情報】** ボタンを押すと MICRO/I、Touch 本体に挿入されている外部メモリの状態を確認することができます。



## 通信設定による操作手順の違い

設定によって通信開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I、Smart AXIS Touch] かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して [OK] ボタンをクリックしてください。
3. 通信が始まります。

通信先：[O/I リンクスレーブ]

1. 「通信先スレーブ」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先のスレーブ局を選択して [OK] ボタンをクリックします。  
⇒ ポートが [イーサネット] の時のみ、[マスタ IP アドレス] 編集ボックスと [...] ボタンが表示されます。通信先 IP アドレスも指定してください。
3. 通信が始まります。

## 5-13 バージョン情報の参照

---

Downloader のバージョン情報を参照するには、以下の操作を行ってください。

- ① メニューバーの **[ヘルプ] - [バージョン情報]** を選択してください。
- ② Downloader の「バージョン情報」ダイアログが表示されます。

## 6 履歴データのフォーマット

---

履歴データ（アラーム履歴、ロギング、操作履歴）のアップロードを行うと、指定したフォルダに CSV ファイルとして保存されます。

HG2G-5F/HG3G/HG4G/Touch 形の場合、各履歴データは WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 で設定したファイル名で保存されます。

HG2G-S/HG2G-5S/HG3F/4F の場合、各履歴データは以下のファイル名で保存されます。

アラーム履歴データ： ALMHT.CSV

データ履歴： LOG##.CSV

（##:「ロギング設定」で設定されたチャンネル番号 01～20 に相当。）

操作履歴データ： OPLOG.CSV


各履歴データのファイルのフォーマットは、WindO/I-NV2、Smart AIXS Touch のユーザーズマニュアルを参照してください。

## 7 ダウンロードオプション

ここではプロジェクトのダウンロード時にシステム ソフトウェアや、拡張フォントと一緒にダウンロードする設定を説明します。これらの設定は Downloader ではなく、WindO/INV2、WindO/I-NV3 で Downloader 用のプロジェクトデータを作成するときに行います。

ダウンロードオプションを設定するには以下の操作を行ってください。

(以下の例では通信先を MICRO/I、Smart AXIS Touch、ポートを COM Port もしくは USB を選択時とします)

- ① WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 のアプリケーションメニュー - [名前を付けて保存] - [その他の形式] を選択してください。
- ② 「Downloader 用プロジェクトデータの作成」ダイアログボックスの「オプション」ボタンをクリックします。
- ③ 「オプション」ダイアログボックスが表示されるので、追加したい情報を選択します。
- ④ システム ソフトウェアをダウンロードする場合には、「システムソフトを強制的にダウンロードする」チェックボックスにチェックをつけます。
- ⑤ 拡張フォントをダウンロードする場合には「拡張フォントをダウンロードする」チェックボックスにチェックをつけ、その後ダウンロードしたいフォントにチェックをつけます。  
➡ このとき、MICRO/I、Touch と通信が可能な状態であれば「システムフォント情報」ボタンをクリックすると、MICRO/I、Touch 内のフォント情報を確認することができます。
- ⑥ 「OK」ボタンをクリックすると設定が終了しますが、手順 4. でチェックをつけた場合、システム ソフトウェアを強制的にダウンロードするかどうかの確認メッセージが表示されるので、「はい」を選択します。
- ⑦ 「ダウンロード」ボタンをクリックすると、「Downloader 用プロジェクトデータの作成」ダイアログボックスが開くのでデータ保存先を選択し、[保存] ボタンをクリックしてください。
- ⑧ ダウンロードの確認メッセージが表示されるので [はい] ボタンをクリックしてください。
- ⑨ ダウンロードが開始され進行状況が表示されます。
- ⑩ ダウンロードが終了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

### 通信設定による操作手順の違い

設定によってダウンロード開始時の操作手順が異なります。

通信先：[MICRO/I、Smart AXIS Touch] かつ、ポート：[イーサネット] 選択時。

1. 「通信先 IP アドレス」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先の IP アドレスを指定して [OK] ボタンをクリックしてください。
3. ダウンロードが始まります。

通信先：[O/I リンクスレーブ]

1. 「通信先スレーブ」ダイアログボックスが開きます。
2. 通信先のスレーブ局を選択して [OK] ボタンをクリックします。  
➡ ポートが [イーサネット] の時のみ、[マスタ IP アドレス] 編集ボックスと [...] ボタンが表示されます。通信先 IP アドレスも指定してください。
3. ダウンロードが始まります。

注意：[システムソフトを強制的にダウンロードする] チェックボックスを OFF にしていた場合、Downloader ではシステム ソフトウェアをダウンロードしません。このため、プロジェクトを作成した WindO/I-NV2、WindO/I-NV3 に搭載されていたシステム ソフトウェアのバージョンとダウンロード対象の MICRO/I、Touch にダウンロードされているシステム ソフトウェアのバージョンが異なる場合、このプロジェクトをダウンロードすることはできません。

- 注意：MICRO/I、Touch に搭載された拡張フォントは、[オプション] ダイアログボックスで選択された拡張フォントによって更新されます。各々のフォントのチェックボックスが OFF の場合、このプロジェクトをダウンロード後、OFF のフォントは消去されます。
- 注意：外部メモリへプロジェクトデータをダウンロードする時、プロジェクトデータにシステム ソフトウェアと拡張フォントが含まれてなければなりません。  
外部メモリにダウンロードするプロジェクトデータを作成時にはシステム ソフトウェアと拡張フォントのチェックボックスを ON にしてください。

## 8 他アプリケーションソフトからの利用

Downloader の機能を他のアプリケーションソフトウェアから利用することができます。  
Downloader の実行ファイルに各々の機能に対応したパラメータを付けてコマンドラインで実行することによって、Downloader の各種機能を行うことができます。

コマンドラインは複数のコマンドを組み合わせて Downloader を機能させます。  
コマンドラインのフォーマットは以下のとおりです。

**"Downloader.exe" ¥### ¥\$\$\$ “%%%" &&& @@@**

動作モード      機能      ファイル名      通信先      パスワード

ここからはそれぞれのコマンドについて説明します。

### 動作モード

**“Downloader.exe” ¥### ¥\$\$\$ “%%%" &&& @@@**

コマンドを実行するときの Downloader の動作方法です。  
2 種類の動作モードがあります。

種類	パラメータ	
通常モード	¥normal	メインウィンドウは表示されません。 各機能のダイアログボックスやメッセージだけを表示させてコマンドを実行します。
サイレントモード	¥silent	ダイアログボックスやメッセージは一切表示させずにコマンドを実行します。 本来コマンドの過程で表示されるメッセージや、ステータスはログファイルに記録されます。 ログファイルは Downloader がインストールされているフォルダに作成されます。 ログファイルは通信の度に上書きされます。 通信完了を識別できるように、complete.flg ファイルが通信終了後、生成されます。このファイルは自動的に削除されません。

この項目は設定必須です。

normal、silent の前に¥マークを必ずつけます。

### 機能

**“Downloader.exe” ¥### ¥\$\$\$ “%%%" &&& @@@**

実行する Downloader のメニュー機能です。  
各パラメータについては **9-1 機能** に記載しています。

### ファイル名

**“Downloader.exe” ¥### ¥\$\$\$ “%%%" &&& @@@**

ダウンロードするデータのファイル名、またはアップロードするフォルダを指定します。  
ファイル名、フォルダ名は絶対パスで位置を指定してください。  
絶対パスは半角の “ ” (ダブルクォーテーション) でくくります。

動作	パラメータ	
ダウンロード時	"C:\¥USERDATA¥SamplePloject.z3f"	ファイルを指定します。
アップロード時	"C:\¥USERDATA¥uploaddata"	保存先フォルダを指定します。

""内のアドレスやファイル名は一例です。

通信時にダウンロードするファイルやアップロード先のフォルダを指定したい場合は、パラメータは不要です。この場合、通信前にファイルあるいはフォルダ選択のダイアログボックスが開きます。

サイレントモードの場合は設定必須です。

レシピデータをダウンロードする場合、複数のファイル指定が可能です。各ファイルは半角スペースで区切ってください。また、ワイルドカード (\*.CSV) による指定も可能で、指定したフォルダに存在する全レシピファイルを一括でダウンロードすることができます。

## 通信先

"Downloader.exe" ¥### ¥\$\$\$ "%%%" &&& @@@

通信先の IP アドレスやスレーブ局番を指定します。設定するパラメータは以下のように通信ポートに依存します。

通信先	ポート	パラメータ	
MICRO/I、 Smart AXIS Touch	COM	不要	パラメータは必要ありません。
	USB		
	イーサネット	192.168.1.1.	IP アドレスを指定します。 複数指定することが出来ます。
	イーサネット (Web Server ユ ニット経由)	192.168.1.1. 2101	IP アドレスとポート番号を指定しま す。 複数指定することが出来ます。
O/I Link	COM	Slave1 Slave10	スレーブ局番を指定します。 複数指定することが出来ます。
	USB		
	イーサネット	Slave2 192.168.1.23 Slave11 2.10.16.12	スレーブ局番と IP アドレスを指定しま す。 複数指定することができます。
	イーサネット (Web Server ユ ニット経由)	Slave2 192.168.1.1.2101	スレーブ局番、IP アドレスとポート番 号を指定します。(IP アドレスとポート 番号にはスペースが不要です。) 複数指定することができます。
外部メモ リ		CF	

パラメータ例は一例です。

通信先が複数の場合、パラメータを半角スペースで区切ります。

通信先の IP アドレスやスレーブをダイアログボックスで、通信時に随時設定したい場合は、パラメータの設定は不要です。

サイレントモード時は設定必須です。

## パスワード

"Downloader.exe" ¥### ¥\$\$\$ "%%%" &&& @@@

接続している MICRO/I にパスワードが設定されているときには、パラメータに入力されているパスワードを自動的にチェックします。

	パラメータ	
パスワード	pass-@@@ (@@@はパスワード)	複数セットすることが出来ま す。 複数指定する場合は半角スペ ースで区切ります。

MICRO/I、Touch にパスワードが設定されていて、パラメータが設定されていない場合、パスワード入力ダイアログが開きます  
 パラメータが間違っている場合はパスワード入力ダイアログが開きます。これは通常モード時の動作です。サイレントモード時にはエラーとなり、ログが残ります。  
 サイレントモード時は設定必須です。

## 8-1 機能

機能メニューのパラメータについて詳しく説明します。

“Downloader.exe” ¥### ¥\$\$\$ “%%” &&& @@@

### ダウンロード

機能	パラメータ
Downloader 用プロジェクトデータ	¥download -P
Downloader 用プロジェクトデータ (キーボードデバイスをクリアしない)	¥download -PK
外部メモリ用プロジェクトデータ	¥download -C

### アップロード

機能	パラメータ
プロジェクトデータ	¥upload -P
プロジェクトデータとフォントデータ	¥upload -PF
プロジェクトデータとシステム ソフトウェア	¥upload -PR
プロジェクトデータと外部メモリ内のレシピデータ	¥upload -P -R
プロジェクトデータと外部メモリ内の登録図形データ	¥upload -P -C
プロジェクトデータと外部メモリ内のサウンドデータ	¥upload -P -W
複数データ	
プロジェクトデータ、フォントデータとシステム ソフトウェア	¥upload -PRF
プロジェクトデータ、システム ソフトウェア、レシピデータ、登録図形データとサウンドデータ	¥upload -PR -R -C -W
すべての履歴データ	¥upload -ALL
アラーム履歴のデータ	¥upload -A
データ履歴のデータ	¥upload -L
操作履歴のデータ	¥upload -OP

使用例：

“Downloader.exe” ¥normal ¥upload -PF “C¥Administrator¥Downloader¥SampleProgram”

“Downloader.exe” ¥silent ¥upload -A “C¥Administrator¥Uploaddata” 192.233.5.15

“Downloader.exe” ¥silent ¥upload -A “C¥Administrator¥Uploaddata” Slave2 pass-1234

## クリア

機能	パラメータ
すべての履歴データ	¥initialize -ALL
アラーム履歴データ	¥initialize -A
データ履歴	¥initialize -L
操作履歴	¥initialize -OP
すべてのデバイスデータ	¥initialize -LK

クリアにはファイル名を指定するパラメータはありません。

## 外部メモリメンテナンス

機能	パラメータ
ダウンロード	
プロジェクトデータをダウンロード	¥cf_download -P
レシピデータをダウンロード	¥cf_download -R
ピクチャデータをダウンロード	¥cf_download -C
サウンドデータをダウンロード	¥cf_download -W
PLC プログラムをダウンロード	¥cf_download -LD
動画ファイルリストをダウンロード	¥cf_download -A
動画ファイルをダウンロード	¥cf_download -M
運転中にダウンロード	
レシピデータをダウンロード	¥cf_download -U
ピクチャデータをダウンロード	¥cf_download -T
サウンドデータをダウンロード	¥cf_download -X
PLC プログラムをダウンロード	¥cf_download -LR
動画ファイルリストをダウンロード	¥cf_download -Y
動画ファイルをダウンロード	¥cf_download -G

「通信先」が「O/I リンクスレーブ」の場合、運転中にデータをダウンロードすることはできません。実行した場合は、通信中にエラーとなります。

アップロード	
アラーム履歴データ	¥cf_upload -A
データ履歴	¥cf_upload -L
操作履歴データ	¥cf_upload -OP
レシピデータ	¥cf_upload -R
画面のスクリーンショットデータ	¥cf_upload -S
ピクチャデータ	¥cf_upload -C
サウンドデータ	¥cf_upload -W
PLC プログラムデータ	¥cf_upload -LD
動画ファイルリスト	¥cf_upload -F
動画ファイル	¥cf_upload -M
すべてのデータ	¥cf_upload -ALL
複数データ	
アラーム履歴データとレシピデータ	¥cf_upload -A-R
クリア	
アラーム履歴のデータ	¥cf_initialize -A
データ履歴のデータ	¥cf_initialize -L
操作履歴のデータ	¥cf_initialize -OP
レシピデータ	¥cf_initialize -R
画面のスクリーンショットデータ	¥cf_initialize -S
プロジェクトデータ	¥cf_initialize -P



PLC プログラムデータ	¥cf_initialize -LD
動画ファイル	¥cf_initialize -M
録画した動画ファイル	¥cf_initialize -E
すべてのデータ	¥cf_initialize -ALL
複数データ	
データ履歴のデータとレシピデータ	¥cf_initialize -L-R
フォーマット	¥cf_format

クリアにはファイル名を指定するパラメータはありません。

使用例：

“Downloader.exe” ¥normal ¥cf\_download -R “C:¥HGDATA01¥RECIPE¥RCP001.CSV RCP0012.CSV RCP0017.CSV”

“Downloader.exe” ¥normal ¥cf\_download -R “C:¥HGDATA01¥RECIPE¥\*.CSV” 192.168.22.3

“Downloader.exe” ¥normal ¥cf\_initialize -L-R Slave1 192.168.22.3 pass-ab12

## オプション

機能	パラメータ
登録図形の変更	
Downloader 用プロジェクトデータの登録図形	¥change_picture -P
アップロードされた登録図形	¥change_picture -U
テキストの変更	
Downloader 用プロジェクトデータのテキスト	¥change_text -P
アップロードされたテキスト	¥change_text -U
デバイスデータの読み出し	¥read_[DDD]_NNN DDD: デバイスアドレス NNN: デバイスデータ数
デバイスデータの書き込み	¥write_[DDD]_NNN -R DDD: デバイスアドレス NNN: デバイスデータ数 -R: リセットする場合 リセットしない場合は不要
システム情報	“Downloader.exe” ¥target &&&
通信設定	“Downloader.exe” ¥settings

使用例：

“Downloader.exe” ¥normal ¥change\_picture -U

“Downloader.exe” ¥normal ¥change\_text -P “C:¥WINDOINV2¥Project1.z2f” 192.168.22.3

“Downloader.exe” ¥normal ¥read\_[LDR 20]\_30 “C:¥WINDOINV2¥ReadData.csv” Slave1 192.168.22.3 pass-ab12

## 8-2 他アプリケーションでの使用方法

他アプリケーションを使つてのコマンドラインの具体的な使用方法を説明します。

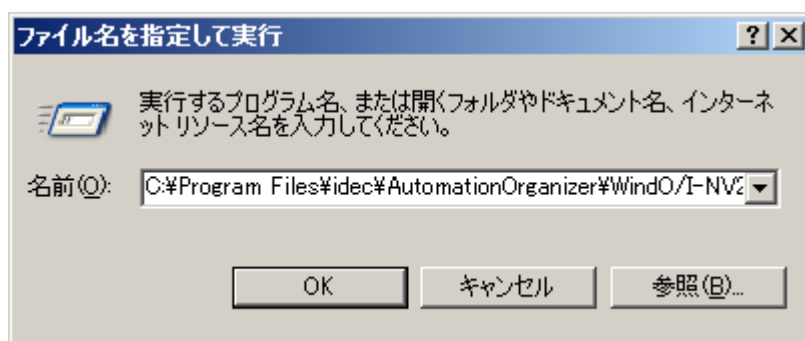
よく使うアプリケーション

- ファイル名を指定して実行
- パワーポイント
- エクセル

### 8-2-1 ファイル名を指定して実行 から使用する

- ① [スタート] ボタンまたはスタート画面から [ファイル名を指定して実行] を起動します。
- ② [名前] のエディットボックスに以下のコマンドを入力して [OK] ボタンをクリックします。  
"C:¥Program Files¥idec¥AutomationOrganizer¥WindO/I-NV2¥Downloader¥Downloader.exe"  
¥normal¥download-P"C:¥Program Files¥idec¥AutomationOrganizer¥WindO/I-NV2¥  
Downloader¥UserData¥sampleproject.z4f"

この例は"C:¥Program Files¥idec¥AutomationOrganizer¥WindO/I-NV2¥Downloader¥  
UserDataにある sampleproject.z4f のプロジェクトデータを、ノーマルモードでダウンロードしま  
す。



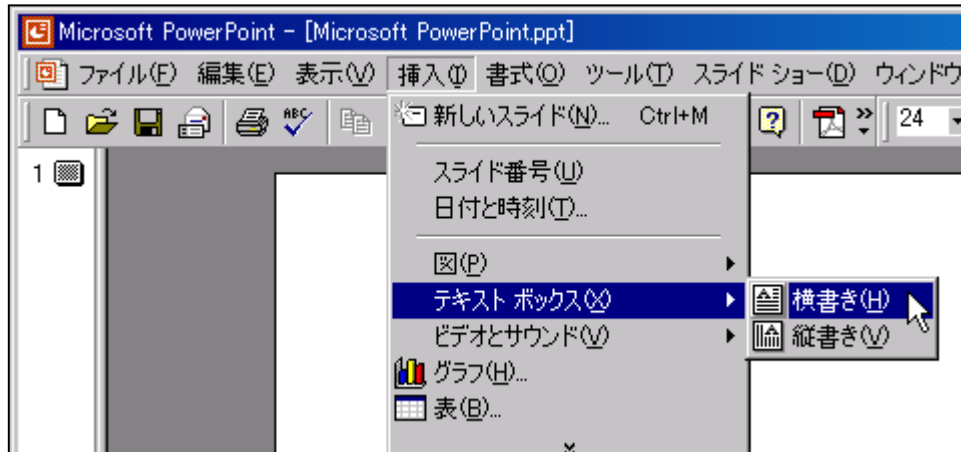
注意：コマンドの最初、“Downloader.exe”の位置については絶対パスを入力します。

- ③ ダウンロードが実行されます。

## 8-2-2 パワーポイント から使用する

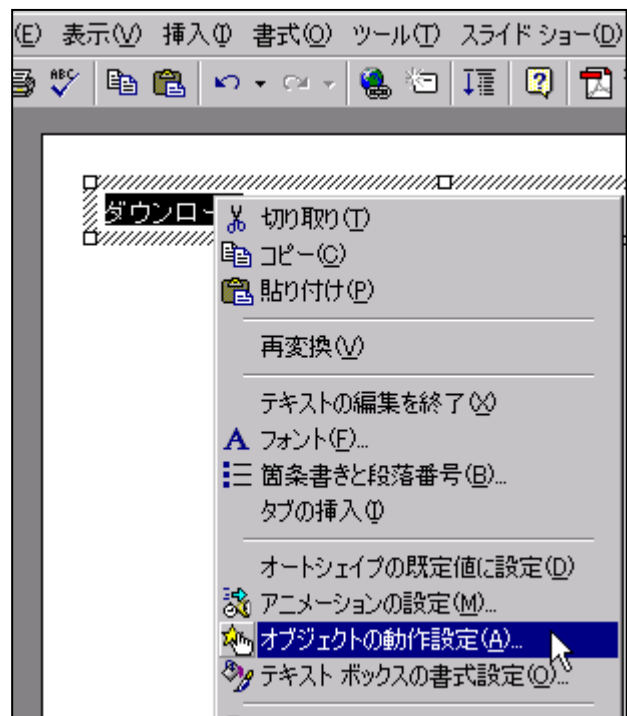
パワーポイントでは、スライド上に書かれた文字をクリック、または文字上をマウスが通過するとコマンドが実行されます。

- ① パワーポイントを起動します。
- ② 新規スライドを作成します。
- ③ メニューの [挿入] - [テキストボックス] からテキストボックスを配置します。

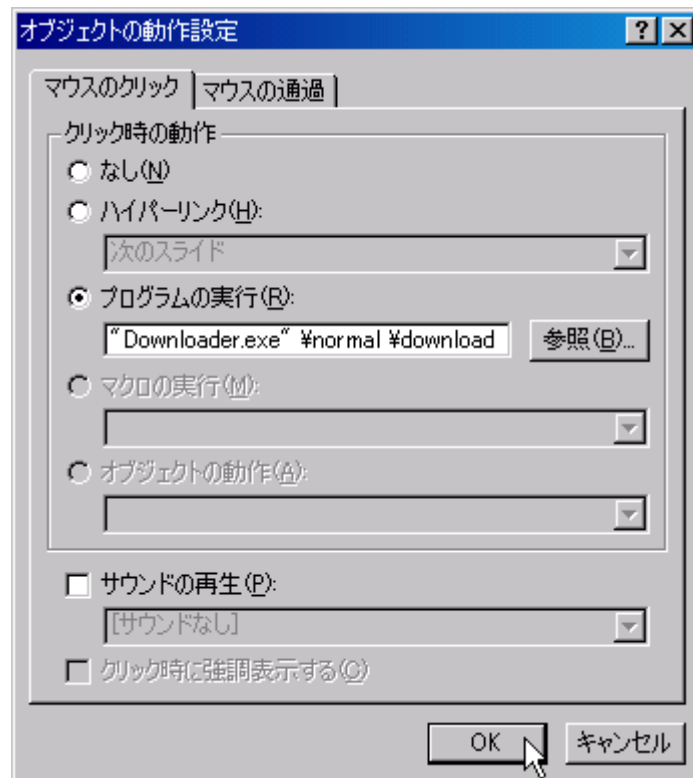


- ④ テキストボックスに [ダウンロード] と入力します。

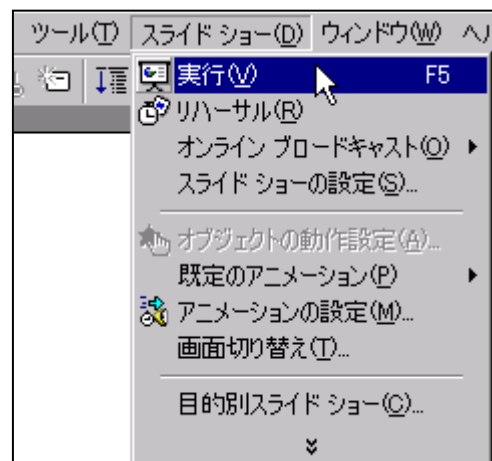
- ⑤ コンテキストメニューから [オブジェクトの動作設定] を選択します。  
→オブジェクトの動作設定ダイアログボックスが開きます。



- ⑥ [プログラムの実行] ラジオボタンを ON にし、エディットボックスにコマンドを入力します。  
(ここではマウスのクリックが起動条件です。)



- ⑦ メニューの [スライドショー] - [実行] を選択します。



- ⑧ スライドショーの画面から文字をクリックしてコマンドを実行します。

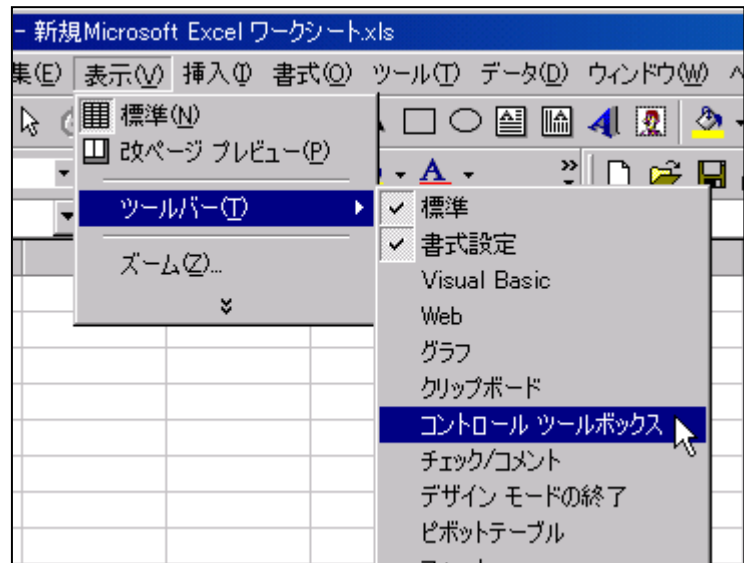
## 8-2-3 エクセル から使用する

エクセルではマクロ(Visual Basic)を使ってコマンドラインを使用します。

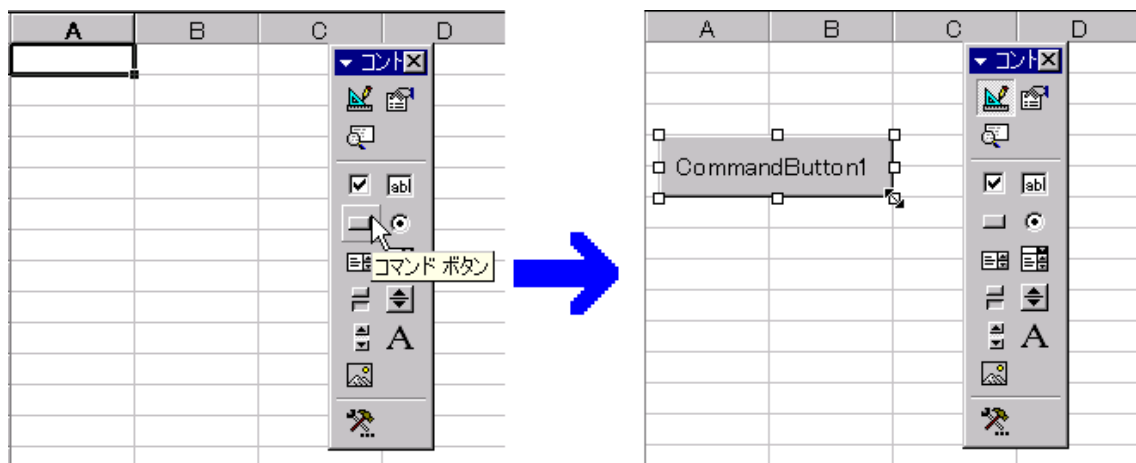
① エクセルを起動します。

② メニューの [表示] - [ツールバー] から [コントロールツールボックス] を選択します。

→ [コントロールツールボックス] ツールバーが表示されます。



③ コマンドボタンを選択して、画面に [CommandButton1] を配置します。



④ [CommandButton1] をダブルクリックします。  
→ Visual Basic のコードウィンドウが表示されます。

- ▶ Visual Basic から他のアプリケーション（ここでは Downloader）を起動させるには Shell 関数を使います。

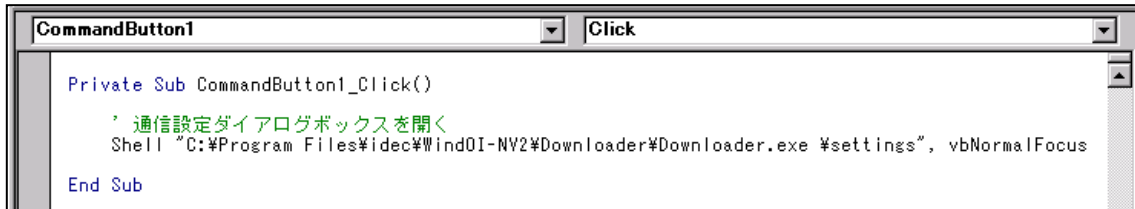
**Shell (pathname [, windowstyle])**

(windowstyle はここでは vbNormalFocus を使用します。)

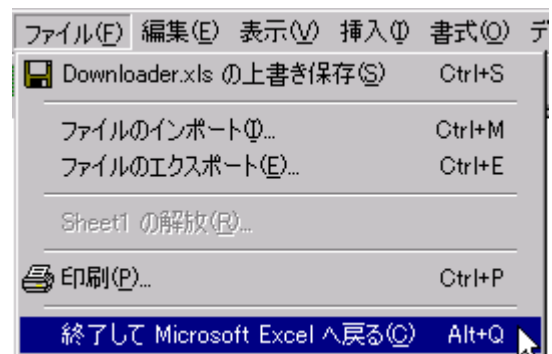
- ⑤ Private Sub CommandButton1\_Click() のプロシージャ内に、以下のコードを入力します。

```
Private Sub CommandButton1_Click()
    ' 通信設定ダイアログボックスを開く
    Shell "C:\Program Files\Idec\WindO/I-NV2\Downloader\Downloader.exe %settings",
    vbNormalFocus

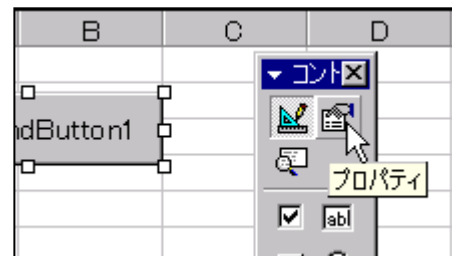
End Sub
```



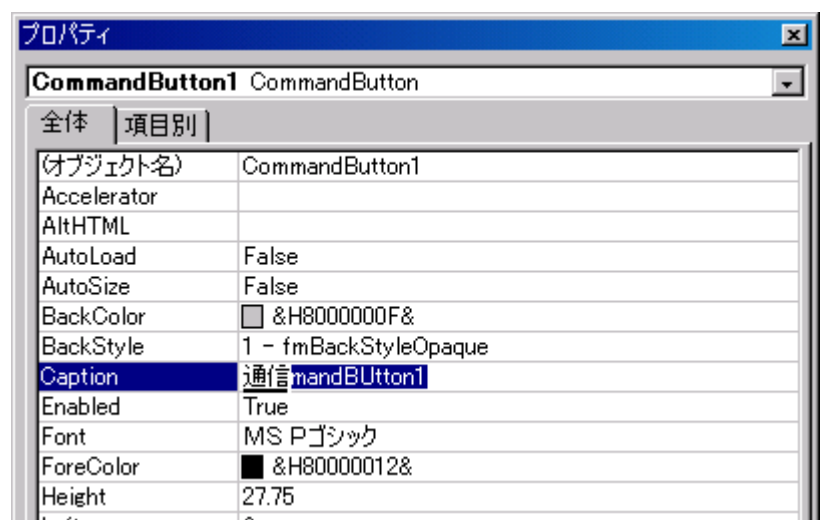
- ⑥ コードウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックするか、メニューの [ファイル] - [終了して Microsoft Excel へ戻る] を選択します。



- ⑦ [CommandButton1] を選択状態で、プロパティボタンをクリックします。  
→プロパティウィンドウが開きます。



- ⑧ [Caption] の [CommandButton1] を [通信設定] に変更して閉じます。



- ⑨ [デザインモードの終了] ボタンをクリックします。



- ⑩ [通信設定] ボタンをクリックします。  
→コマンドが実行され、通信設定ダイアログが表示されます。